

Abiko City

**基本目標 3**

**子どもと子育てに  
あたたかい  
まちづくり**  
(子ども・教育)



### 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援に取り組みます。

#### 施策の展開内容

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。

多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。

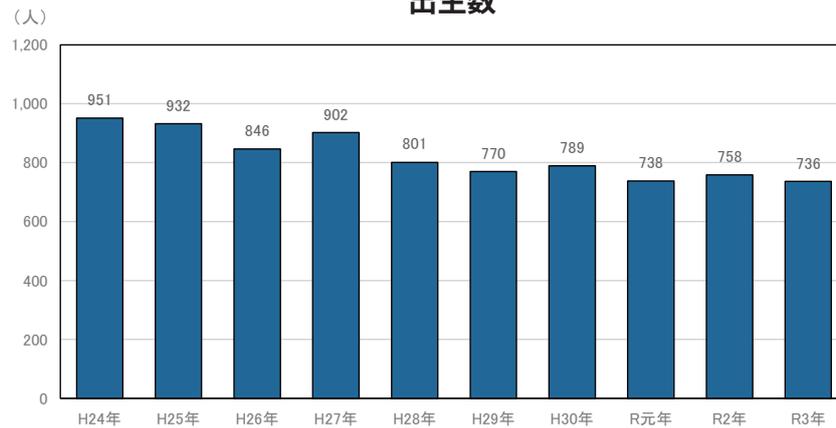
子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。

#### 現状と課題

- 近年、地域のつながりの希薄化などにより、妊婦や親子の孤立感、負担感が高まっています。妊婦や親子が、安心して健康な生活を送れるよう、身近で気軽に相談や交流ができる環境を整備し、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う必要があります。
- 女性の社会進出などにより保育ニーズが高まる中、保育人材が不足しており、定員の維持が難しくなっています。待機児童ゼロを続けるためには、保育を支える人材の確保が必要です。
- 幼児教育・保育の無償化が始まり、保育園や認定こども園、幼稚園などそれぞれの特色を活かした保育・教育が行われています。多様な保育・教育ニーズに対応できる体制を整える必要があります。
- 市内全小学校に学童保育室を設置していますが、児童数の多い我孫子地区、天王台地区では定員が超過している学童保育室があります。安全に安心して放課後を過ごせる学童保育室が求められています。
- 少子化の要因の一つに、教育費など経済的負担への懸念が挙げられています。安心して子どもを産み育てられるよう、経済的な支援をしていく必要があります。
- 子どもに関する相談は年々増加傾向にあり、内容も複雑化かつ深刻化しています。多角的な視点での状況把握及び支援とともに、さまざまな悩みや不安を相談できる環境を提供することが求められています。



## 出生数



### 主な取組

#### 子育てしやすい環境づくり

- 地域の中で安心して子育てができるよう、地域の人や事業者と連携し、乳幼児や保護者同士が交流できる場の提供や一時的に子どもを預けることができる制度など、ニーズに応じたさまざまな事業を行っていきます。

#### 保育・幼児教育の充実

- 安心して子どもを産み育てられるよう、保育ニーズに応じた人材の確保と保育の質の向上に取り組めます。
- 保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園などさまざまな子育てのための施設の利用者支援や延長保育に対する支援を行います。

#### 妊娠・出産・子育てへの支援

- 子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。
- 子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。
- 虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。
- 保護者の就労や子育てを支援するため、児童が安全に安心して放課後を過ごす学童保育室を運営していきます。

#### 子育てへの経済的支援

- 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童手当の支給、子ども医療費の助成を行うほか、家庭環境に応じた各種支援を行います。
- 経済的な理由による格差の解消や子どもと地域の交流を図るため、学習支援や子ども食堂の活動を推進します。
- 教育機会の均等を図るため、小中学校への就学費用の支払いが困難な家庭を援助します。



## 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
保育園等の待機児童数	0人	0人	
妊婦健康診査受診率	94.9% (R2)	100%	1回目健診数/妊娠届出数
麻疹風疹予防接種対象者の接種率	96.1% (R2)	100%	
学童保育室入室許可割合	96.5% (R2)	100%	学童保育室入室許可児童数/入室希望児童数
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	100% (R2)	100%	

## 施策の満足度・不満度に関する指標

## 【少子化対策の推進】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 68.4%

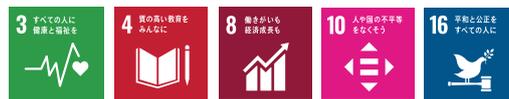
指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	26.9%	48.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	10.5%	10.0%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	11.9%	
	湖北地区	10.1%	
	新木地区	14.3%	
	布佐地区	12.8%	

## 【子育て支援】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 82.5%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	52.0%	58.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	6.4%	4.7%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.3%	
	湖北地区	7.1%	
	新木地区	4.8%	
	布佐地区	12.6%	





### 3-2 子どもの成長に応じた発達への支援

子どもとその家族が身近な地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。

#### 施策の展開内容

家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。

#### 現状と課題

- 幼少期から発達に応じた療育・教育を受けることが、子どもの健やかな成長につながります。発達に支援が必要な子どもを早期発見・早期支援し、ライフステージに応じた一貫した発達支援を行う必要があります。

#### 主な取組

#### 子どもの成長に応じた発達への支援

- 就学時などライフステージに応じた切れ目のない専門的な発達支援が行えるよう、医療、保健、福祉、教育分野のさらなる連携強化を図ります。
- 発達に支援が必要な子どもが早期に適切な支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用可能日数の決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実を図ります。
- 子ども一人ひとりの発達に応じた、質の高い発達支援を実施するため、体制の充実を図ります。
- 発達に支援が必要な子どもが、状況に合わせた合理的配慮（※1）を受けてのびのびと地域のなかで生活できるよう、幼稚園や保育園、認定こども園、学校などにおいて、発達特性に対する理解や、困難を感じる環境を調整することへの理解を深める取組を進めます。
- 発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。
- 特別な支援を要する児童生徒の就学相談や一人ひとりの状況に応じた特別支援教育の取組を推進します。
- 児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう、引き続き、各学校に学級支援員などを配置し、児童生徒、保護者、教職員からの相談を通して支援を行います。

（※1）合理的配慮

障害のある人の人権が障害のない人と同じように保障されるとともに、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる配慮のこと。

#### 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	96% (R2)	100%	



基本目標3



### 3-3 魅力ある学校づくり

確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを進めます。

#### 施策の展開内容

子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。

#### 現状と課題

- 変化の激しい社会において、自ら考え行動する力や、多様な価値観を理解し合う力、新たな課題に柔軟に対応する力の重要性が増しています。確かな学力や体力を含めた生きる力をつける教育を充実させていく必要があります。
- 国のGIGAスクール構想により、児童生徒1人1台の端末と通信ネットワークが整備されました。子どもたち一人ひとりの資質・能力を育成するために、ICTを効果的に活用していく必要があります。
- 小学校への就学、中学校への進学においては、学習面や生活面での円滑な接続が重要とされています。子どもたちが豊かな学びを得られるよう、切れ目のない一貫した教育が求められています。
- いじめの問題は、児童生徒の生命や身体に係る重大な事案につながるものが懸念され、SNSでのいじめなど新たな問題も発生しています。引き続き、いじめの未然防止や早期発見・早期対応を図る必要があります。

#### 主な取組

##### 学校教育環境の充実

- 心身ともに健康な子どもたちを育み、確かな学力の育成を支援する授業の推進や、個に応じたきめ細かな指導のための環境づくりに取り組みます。
- 子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。
- 子どもたちの教育環境の充実を最優先に、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、小中学校の適正規模に関する検討を進めます。
- 子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するため、小中学校における食育及び歯科保健活動の充実を図ります。
- 小中学校施設の点検を実施し適切に管理するとともに、老朽化が進む学校施設の改修や改築を計画的に行うことで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の充実を図っていきます。
- 教育に関する予算の編成や執行、条例提案などの重要な権限を有する市長と教育委員会が地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、地域に根差した学校教育環境の充実を図ります。



## 子どもがいきいきと輝く学校づくり

- 育ちと学びの接続を重視し、豊かな人間性や社会性を育むため、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携、小中一貫教育を推進します。
- 「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもの育成を図ります。
- 教職員や少年指導員の研修会などを通して、近年増加しているいじめや生徒指導上の問題についての見識を深め、適切な対応ができるよう支援するとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組、子どもが気軽に相談できる仕組みづくりを進めます。
- 保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。

## 確かな学力の定着と体力の向上

- 子どもたちが未知の状況に対応する力や他者と協働して課題を解決する力を育めるよう、子どもたちの主体性を重視した教育を推進します。
- 教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。
- 「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、ICTの環境整備と活用に取り組みます。
- 子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。



### 施策指標

指標名	現況値	目標	備考
不登校児童生徒への対応率	100% (R2)	100%	

### 施策の満足度・不満度に関する指標

#### 【学校教育・幼児教育の充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 82.0%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	51.4%	57.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	5.9%	5.5% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	8.2%	
	湖北地区	5.6%	
	新木地区	7.1%	
	布佐地区	11.9%	

#### 【地域に根差した教育の充実】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 68.4%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	37.4%	48.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	6.6%	2.3% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	6.0%	
	湖北地区	6.5%	
	新木地区	2.4%	
	布佐地区	9.4%	



### 3-4 心豊かにする体験・活動の推進

子どもたちが将来に夢や希望を持ち、心豊かに成長できる環境づくりを進めます。

#### 施策の展開内容

子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。

#### 現状と課題

- 体験活動は、自ら学び自ら考える力などの生きる力の基盤や豊かな人間性の育成など、子どもの成長の糧としての役割が期待されています。子どもたちがさまざまな体験活動を通じて、社会や地域に参加し、人や物事とふれあい、経験を重ねることによって、自主性や社会性、創造性などの能力を伸ばし、生きる力を身に付けられるよう、学習の場や機会を提供する必要があります。

#### 主な取組

#### 心豊かにする体験・活動の推進

- 子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、地域に根差したさまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めるとともに、青少年の健やかな育成に対する地域住民の理解を深める取組を進めます。
- 放課後の子どもたちが安全に安心して遊ぶことができるよう、あびっ子クラブを運営するとともに、地域住民と連携してさまざまな活動の場を通して交流を図っていきます。
- 読書の楽しみを広げるとともに、学習活動における図書館利用の促進を図り、小中学校と連携・協力し、学校図書館の充実と調べ学習のバックアップ体制を整えます。
- 子どもたちの豊かな感性を育むため、創作活動に親しみを持ってもらう「めるへん文庫」事業や、舞台芸術を鑑賞する機会の提供を推進します。



### 施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
あびっ子クラブ登録率	53.5% (R2)	60.0%	登録児童数／全小学校在籍児童数
チャレンジタイムの平均実施回数	133.5 回 (R1)	190.0 回	市内全あびっ子クラブでの実施総数／あびっ子クラブ数（13 か所）
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	8.15% (R1)	9.25%	あびこ子どもまつり有料来場者数／市の3～12歳の人口
げんきフェスタに参加した子どもの割合	5.05% (R1)	5.73%	げんきフェスタ有料来場者数／市の3～12歳の人口
学校への調べ学習支援件数	73 件 (R1)	80 件	

### 施策の満足度・不満度に関する指標

#### 【子どもの成長・自立への支援】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 78.2%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合（市全体）	44.6%	55.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	5.9%	2.3% 以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	6.2%	
	湖北地区	6.6%	
	新木地区	2.4%	
	布佐地区	10.6%	

